

海もてい草ばも

見えない

呆然たる顔に

夕日が映えてゐる。

## 春の復讐

涙ですゝいだ真白いほうたいをまけどくじみ出る歡喜と眞摯との確執の余波  
たつた一片の膏藥でよくなつた悲愁と苛責との汚血

明日身なりなりともとのへて私は久しぶりに神にまうでよう。